

意見交換会報告書

開催日時	令和6年10月16日（水）午後7時30分 終了：午後9時0分
開催場所	松任文化会館ピーノ 401会議室
対象団体	白山市PTA連合会
参加人数	12人
出席議員	木谷和栄、中野 進、田代敬子、小川義昭、村本一則、藤田政樹
役割分担	司会：中野、開会・閉会挨拶：藤田

意見交換会テーマ「不登校について」

（意見1）

不登校の定義が分かりづらい、気づきにくい、解決策が見えにくいところがある。

（意見2）

不登校はネガティブなイメージが多いが、子供の「個」を維持し、その子に合った場所があるべき。学校や各教室に居たくないときは個別の場所で過ごせばよい。

（意見3）

我が子も自分も不登校というテーマに対し経験がないので「いざまさかのとき」になって、どこに相談に行けば良いのか、どこに行けば情報が得られるのか分からない。

（意見4）

「不登校」というネーミングが良くないのではないか。違うネーミングにできたら良いと思う。

（意見5）

昔は家庭訪問をして保護者と学校との連携が密に取れていたが、先生の多忙化もあり、実施されていないこともある。

（意見6）

松任小学校で「不登校の親の会」という有志による会ができ、お互いの悩み、不安なことを聞いてもらった。それぞれの学校でもそんな会の取組ができれば良いのでは。

（意見7）

違う学校などで話し合いができれば良いと思う。親は子供に行かせたいと思うし、子供は行かなくて申し訳ないと思っている。

（意見8）

昔は近所づきあい、町内会などのつながりが強かった。不登校には家庭内の問題もないか。例えば離婚など、家庭不和といったことも原因になっているのではないか。

（意見 9）

スマホ、グループLINEで無視されることがあるという。スマホを持つことのルールをしっかりと教えることで不登校を防げるのではないかな。

（意見 10）

いじめに関しては「キラキラアンケート」がある。子供たちが思っていること、嫌なことも先生はそれを見てすぐに対応してくれて、解決した経験がある。「キラキラアンケート」はいじめ防止、いじめの解決方法として有効な手段だと感じる。

（意見 11）

不登校児の健康診断はどうなっているのか。もし病気が隠れていて「あのとき見つけていれば」というようなことにならないように健康診断は重要だ。

（意見 12）

子供が学校に行き渋りしそうなとき、「打ち明けられる」、「信頼できる」人がいないので、ネットなどで打ち明けるしかないのかもしれない。本音を聞いてあげる、見守るなどが重要だ。

（意見 13）

子供に主体性を持たせる教育の重要性、YESとNOをはっきり言えることの必要性を感じる。

（意見 14）

ざっくばらんに話せる場があると良い。不満なことなどなんでも話せる場所が必要ではないかな。